

大阪府高齢者大学同窓会連絡協議会

第1回1泊2日バスツアー旅行に参加して

副理事長 中島 廣次 (同窓会 東部会長)

晩秋の爽やかな秋空の下、10月29日(水)～30日(木)四国 道後温泉「しまなみ海道」を目指し98名が参加、大型バス2台に分乗して満席となり、車中では仲間とは久しぶりの再会を喜んだり、近況を報告しあったりでワイワイガヤガヤと盛り上がり、懇親を深めながら予定通り8時頃梅田を後に一路道後温泉を目指し出発いたしました。

道中はバスガイドさんが沿道の案内を名調子にアナウンサーされ、みんなが聞き惚れて、うっとりとするばかりです。その間トイレ休憩・昼食を挟んで午後3時半頃には四国八十八ヶ所、第51番札所、熊野山石手寺に到着いたしました。このお寺は領主河野家に生まれた男の子が左手を握ったまま開かず、この寺で祈祷を受けると、遍路の元祖衛門三郎の生れ変わりを示す小石が手のひらからこぼれ落ちたという伝説によって石手寺という自号に定められお参り後宿泊ホテルに無事到着いたしました。

道後温泉では長旅で疲れた身体を温泉で癒し、一段落してから予定通り懇親会が始まりました。最初に奥谷理事長のご挨拶と5役と地域同窓会の会長が紹介されました。その後演壇ではハッピー姿で「よいしょ・よいしょ」と餅つきが始まり突き立てのお餅をみんなに振る舞われ、またカラオケでは日頃鍛えたノドで美声を発し大変盛り上がり時間の経つのも忘れ、お食事も地元の特産物を大いに堪能され、無事盛会裡に終了いたしました。

翌朝8時半頃ホテルを後に従業員に見送られて出発いたしました。

帰路「しまなみ海道」では多くの島と橋で結ばれ、車中からはすばらしい風景と情景に全員が感動し満喫されたようです。また、休憩場所ではショッピングを大いに楽しまれ手荷物が増えるばかりで、持ちきれない人も結構おられました。長旅にそろそろ疲れが出てきたのでバスガイドさんも静かにして我々の眠りを助けて下さいました。

予定り無事梅田に夕方の6時半頃到着して、またの再会を約束してそれぞれ家路に向かわれました。最後になりましたが天候にも恵まれこのように立派な企画をして頂いた幹事さんには改めて厚く御礼申し上げます。



道後温泉での記念写真